

長年の功績に光

春の叙勲 旭日双光章 地方自治功労 芹田正嗣さん(岩子)が受章

4月29日、春の叙勲受章者が発表され、芹田正嗣さんが地方自治功労で旭日双光章を受章しました。

5月9日には、県庁で伝達式が行われ秋田県知事から勲章が手渡されました。

芹田さんは、昭和62年に峰浜村議会議員に初当選し、3期7年10カ月務め、平成7年5月には峰浜村長に当選し、八森町と町村合併するまでの3期務められました。

今回の受章について「皆様の協力のもと、今日までこられました。地域住民のためにこれからも、頑張っていきたいです」と話しました。

長きにわたり、八峰町の自治振興に大きく貢献されてきましたことに敬意を表します。受章おめでとうございます。



「輝サーモン」 給食でおいしくいただきました



町内子ども園では、八水(株)より寄贈された「輝サーモン」を、鮭フレークにして給食でいただきました。

北部ギバサ増殖会

秋田の伝統海藻「ギバサ」の漁場を守り育てる



八峰町の団体の活動を紹介します

●北部ギバサ増殖会(秋田県漁業協同組合北部支所)の立ち上げ

ギバサ漁業の伝統を次世代に引き継ぐ新たな取り組みのため、岩館・八森地区の漁師16名で立ち上げました。漁業者と水産加工業者が手を組み、地域水産業の振興を目指しています。

●潜水観察によるギバサ漁場減少の要因と新たな取り組み

ギバサ漁場の拡大を妨げる要因として付着物が岩肌を覆ったことや、母藻設置は付着物の少ない場所でないことが効果が低いことが挙げられました。そのため、岩肌の付着物を取り除き、母藻を設置することで解決できないかと下記の作業を行いました。

●作業内容「磯をしば刈り」

- ①スクレーパーでの「しば刈り」
海藻、フジツボ類、巻貝など付着物を全除去
- ②カマでの「しば刈り」
主に直立する海藻のみ除去
- ③母藻の設置
母藻の根をチェーンや網にさしこみ、海底に設置

●ギバサ漁場の回復

しば刈りをすることで、ギバサ漁場の回復を確認。



スクレーパーでしば刈り



しば刈り前



しば刈り1年後

出展:秋田県水産振興センター、小林優大

水産庁長官賞を受賞

1月17日に県青年・女性漁業者交流大会が開かれ、北部ギバサ増殖会の小林優大さんと船越宗大さんがギバサの資源回復に取り組んでいる活動で「秋田の伝統海藻「ギバサ」の漁場を守り育てる一漁師は磯へ「しば刈り」に…海藻植生を制御する」と題し発表を行い、最優秀賞に選ばれました。続いて行われた第28回全国青年・女性漁業者交流大会では最高賞に次ぐ水産庁長官賞と、特別賞の全国水産試験場長会会長賞を受賞しました。